

Café

カフェの話 9
レッド・シューズ 2

「レッドシューズ」、名前だけが先に生まれたそのまだ見ぬカフェのプランを作る作業は、考えるというより、未知の世界を探し出すような想像の世界の中の浮遊のようなものでした。私は、オーナーの言う横須賀のドブ板通りへ出掛けてみました。当時のドブ板通りは、米軍専用の店が並び、危険な匂いのする町でした。その一番奥は、昼間でもなんとなく薄暗い感じのする、より一層危うい空気がありました。路地のまたその奥に、「BAR」の看板が掛かっており、「レッドシューズ」ではなかったけれど、その雰囲気がありました。その町の危険な匂いは、どこか私にも懐かしく感じられ、それは、子供の頃に町を歩き回った時に見かけた風景に、よく似ていたのです。そのような場所は、日本中の町の、陰の部分として、どこにでもあったと思います。子供の頃はそのような場所には近づくことを禁じられて、興味と、恐れで、遠くから見ていたのです。私は、レッドシューズの未来のオーナーの心が分かったような気がしました。たぶん、自分のカフェには、陰の部分がなくてはならないものだ、そう考えていたのでしょう。その後、そのオーナーの仕事は、六本木 ミント・バー、インクスティック、と何軒か続きましたが、いつも、当時の時代を感じる鮮烈な言葉を持って、私達を仕事の完成へと掻き立てました。レッドシューズになるはずの、店の現場は、246号線沿い、西麻布の交差点(当時は高樹町)近くの、うらぶれた空きビルの地下にありました。現場状況を見るために出掛けたのは、平日の夕方6時頃でした。地下へ入る階段を下りると二つの部屋の仕切りを取り払って、もともとの店の形も分からないくらい荒れ果て、天井は取り払われ、大きな空調ダクトが剥き出しに縦横に通っており、剥げた絨毯の床には、50円と表示したTVゲーム台が、雑然と数台置かれていました。そこには、2人の中学生が、ただ俯いてゲームのレバーを叩いている…… なんとという光景……

中学生達は私に何の興味もなく、ただ、画面に見入っていました。陰のある風景…… そのものでした。私は、未知の世界の姿をそこに、見ていました。



次号に続く



COLUMN

鎌倉の猫事情 第八十七話

窓の外では、気持ちのよい霧雨が降っています。紫陽花の花びらに水滴がまとわりついて灰色の空気の中でよりいっそう鮮やかな色を見せています。鎌倉のもっとも鎌倉らしい風景です。猫達は……紫陽花のことなど存在も知らないかもしれません。グーニーとスィービーも、もう十年！鎌倉に住んでいるのにです。十年！グーニーが初めて家に来たのは、1999年3月18日で、その3ヵ月後に、未来の花嫁と決められたスィービーが家にやって来たのですから、もう兩名十歳の中堅どころの年季の入った猫なのです。と言うことは、結婚も10年目。今でも大抵は仲よしです。時々、突然グーニー君が暴れだした時を除けば、こんなに雨が降り続くと、水の嫌いな猫達は、家に閉じこもりがちで、あまり引きこもっていると退屈になるのです。グーニーの奇行は今に始まったことではありませんから、スィービーも慣れたものです。スィービーは本当に猫らしい猫ですが、グーニーを見ていると、こいつは、本当は犬じゃなかるか、と思うことがあります。まず、食事の時は、「待て」の姿勢でお行儀よく待っています。こちらが忙しいと、お皿の前に足をきちんと揃えて、いつまでも座って待っています。その内人も何でここに座っていたのか忘れるほど、ポーッとしてもまだ座っています。号令も好きです。強い声で「グーニー！」と声をかけると、どこにいてもびっと反応して言われる方へ走ってきます。たまたま外で会った時など、「グーニー、さ、帰る！」と言うとちゃんと並んで家に帰ってきます。その行動はとてもしびきびきびして、お利口な犬のようです。まるで、ちゃんと誰かに教わってきたかのように。もし、この世のほかにも、前世というものがあんなら、グーニーはきつと、そこでは犬だったに違いありません。グーニーは、昔、犬だった、ということを証明する事実はまだまだ山ほどあります。違いありません。でも、やっぱり、かつお節が一番好きで、次に、かつおのなまり節で、次は漁港のしらすで、次は、新発売のキャットフードで…… やっぱり猫か……



to be continued

2009 Milk Hall

ANTIQUES BAZAAR

2009年、ミルクホールでは毎月一度、テーマを決めて
ガラタ・アンティーク・骨董の催事を開催いたします。

夏の市のテーマは、
日本の・暮らしです。

昔の日本の家には、四季の変化の激しい風土の中で
工夫され、編み出された、合理的で情緒豊かな
暮らしが、そこかしこにありました。
日本の暮らしの道具が、テーマです。



LIVE

ミルクホールの BAR TIME
ライブでお楽しみ下さい。

by HALF MOON

7/18 Sat. 19:30~

琢磨 仁
琢磨 啓子

ハーフムーンは、愛と平和を歌います。



..... 夏の市 入荷予定

大正・昭和初期の日本の建具色々
戦前のガラス棚各種
明治～大正時代の箆笥色々
欧製アンティーク類

7月11日(土) 初日新入荷

家具・建具入荷

明治時代蔵戸・昭和初期モールガラス窓
昭和初期商店の飾り窓・陳列ガラス棚

大正色絵向付・小皿など 30%OFF

伊万里・古伊万里 昭和初期家具類入荷
漆碗・盆 明治印判向付・なます皿・小皿



14日(火) 火曜日は着物の日

ゆかた・半幅帯・夏の着物 30%OFF

次回の蚤の市は
日本のガラスです

16日(木) 入荷日

和洋家具・印判・大正時代ガラス器・古民芸など

8月 8日(土)

9日(日)

17日(金) 最終日

全品 30%OFF

★毎週火曜日は 着物の日です

HISTORY

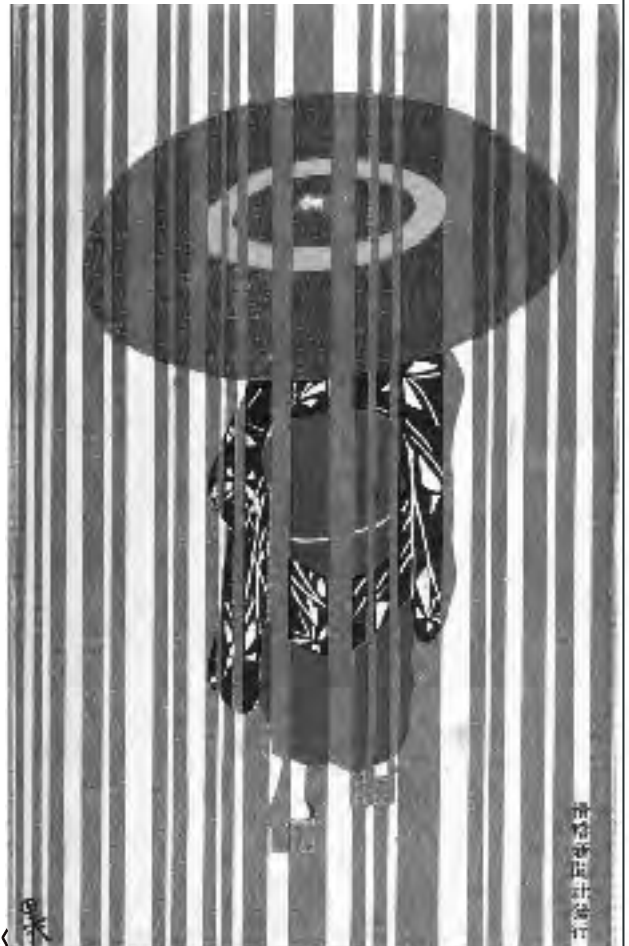
KAMAKURA

場所の記憶 37
ミルクホールのルーツ 23

先日、ご近所に古くから住まわれている女の方に、戦争中日本の領土だった中国の青島の写真を見せて頂きました。その方も、戦争中は青島に住んでいらしかったそうです。他にも、磯見の父母が戦争中青島にいたことをご存知の方にお聞きしたところ、鎌倉と青島は、何か理由があって縁のある場所だったそうで、鎌倉から多くの人が青島へ渡ったそうです。見せて頂いた写真には当時の青島の美しく整然とした風景が写っています。磯見の母から、青島はドイツの作った街で、西洋風の素敵な町並みだったと聞いていました。街には中国人と日本人、それに亡命ロシア人が住んでいたそうです。そこに日本人がアカシアの並木を植えたので、青島には雨がよく降るようになったと中国人達が言っていたそうです。今手元にある写真には、そのような風景のほかに、これが中国？と見まがうような、立派な神社、神殿、それに、桜、その下を歩く舞妓さんたち・・・想像しなかった不思議な光景です。着物の日本女性と、サングラスを掛けて闊歩する西洋女性が行きかう街の様子でした。

その後、日本は敗戦し、混沌とする中を皆日本を目指し帰国したのですが、その様子は、想像の中でしか見ることはありません。この写真の持ち主のお話はその後も聞く機会を得ていませんが、青島での人々の暮らしや、その後のお話をお聞きしたいと思っています。

やはり、あの戦争が私達のルーツを思う上でとても重要だという気がするのです。 次号へ続く



写真提供：青島市史

ミルクホール

骨董・ガラクタ市

夏の市

7/11 Sat. 17 Fri.

伊万里・古陶磁
和洋家具
古民芸
アンティーク

ミルクホールにて

朝11時より

懐かしい時代の香り
日本の木の手触りを大切にしたい
ミルクホールの夏の市

ミルクホールのアンティークは

明治・大正時代の日本のものを中心に
古き良き時代の暮らしの中で親しまれた品々を
手ごろな価格で揃えています。

中には意外な掘り出し物も...

♠ 和洋家具

昭和初期ガラス建具各種

大正・昭和初期ガラス棚各種

イギリス製アンティークテーブル

大正時代ガラス水屋 2段

カウンターテーブル ミシン脚 2種

明治庄内筆筥 梯子

明治・大正時代小筆筥各種

昭和初期椅子・テーブル

大正・昭和初期文机各種

大正時代ガラスケース各種

明治時代衝立・昭和初期衝立

裁縫台各種

♣ 古陶磁

大正色絵向付・碗・小皿各種

明治印判・なます皿・碗・小皿各種

伊万里・なます皿・向付各種

古伊万里印判小皿

古伊万里瑠璃小皿

明治平戸染付け小鉢

伊万里蓋碗各種

明治錦絵小皿

明治べる藍鉢

昭和初期織部長皿

大正印判皿・鉢

♥ 古民芸

御簾 一對

大正時代鏡台

漆お椀・茶托・御膳

明治道具箱・樽など

糸巻き・大小

作業台各種 行灯

明治衣装盆

♣ 骨董

漢時代瓦

道教壁画部分

弥生時代壺

宋時代白磁

アフガン石仏

北齊仏頭

◆ アンティーク

Victorola 蓄音機

大正・昭和初期ガラス器

明治乳白ガラスシェード

仏製照明スタンド各種

欧製アンティーク額各種

戦前照明スタンド

アクセサリ色々

古布・古裂

夏の着物 新入荷

ゆかた 色々・単衣着物

✂ 半衿・帯揚げ

昔の着物をほどいて絹の半衿に
仕立てました。
着物のおしゃれのポイントは半衿です。
同じ着物も、半衿を変えるだけで、
別の着物のように生まれ変わります。
自分の個性に合わせたコーディネートで、
楽しみませんか。

無地の半衿 ￥500より

銘仙・絞りなど ￥800より

帯揚げ各種 ￥700より

✂ 帯締め

コーディネートの後を
引き締めるのは帯締めです。
買いやすい価格で揃えました。

✂ 古布

大島紬・絞り・銘仙など

✂ 帯

夏帯色々 新入荷

半幅帯・名古屋帯など

絹・麻・木綿など

￥1800より

✂ 和の小もの

下駄・ビーズバッグ

古陶磁・アンティーク

30% off

